

空手塾同志会主催
THE TAMA CUP 2006
第5回全日本ジュニア空手道選手権大会

平成18年2月5日、猛寒波襲来の中、関越道を抜け快晴の東京へ遠征に向かった。

今大会には4年生のエース猿子(総本部)を筆頭に本部、支部総勢10名の選手が参戦。日頃の練習の成果を発揮すべく大会に臨んだ。

道場期待の幼児部(年中、年長)には4名が参戦。年中の部に出場した滝沢栄吉(本部)、五十嵐輝(豊栄)、渡邊滯(仙台)は共にあと一步のところに入賞に届かず惜しい結果となったが、上段後ろ回し蹴りで技ありを穫る等、観客を魅了した。年長の部に出場した渡邊誠(仙台)は持前の足技を如何無く発揮し、見事優勝を勝ち取った。

今大会1番の50名参加となった1年男子には五十嵐猛(豊栄)と小島諒也(仙台)が参戦。共に同志会が誇る2枚看板(松本、坪田選手)に善戦するも惜敗となった。

2年男子には滝沢冠太(本部)、西野泰斗(本部)小川新之介(亀田)の3選手が参戦。西野が大会強化選手として練習の成果を存分に発揮。準決勝で優勝した清水選手(極真館)に善戦し惜しくも敗れはしたが、嬉しい全日本初入賞となった。

4年上級には猿子和貴(本部)が参戦。順当に駒を進め、準決勝では最近メキメキと頭角を現している中川選手(極真坂本)と対戦。一進一退の攻防を繰り広げたが、猿子が的確な突きの連打で判定勝利を取めた。続く決勝は順当に勝利し優勝を飾った。



年長の部	優勝	渡邊 誠(仙台支部)
小2の部	第3位	西野泰斗(総本部)
小4上級の部	優勝	猿子和貴(総本部)